

Lev

Chapter 14

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל-מֹשֶׁה לֵאמֹר: 1
主はまたモーセに言われた
[H0559](#) [H4872](#) [H0413](#) [H3068](#) [H1696](#)

主はまたモーセに言われた、

זֹאת הַתְּהִיָּה תֹרַת לְמִצְרָיִם בְּיוֹם טְהִירוֹתָם וְהוּבָא 2
その者は-連れて行かれる その-清めの その-日に ツアラアの-者の 律法である [である] これが
[H0935](#) [H2893](#) [H3117](#) [H6879](#) [H8451](#) [H1961](#) [H2063](#)
אֶל-הַכֹּהֵן: 祭司の-もとへ [へ]
[H3548](#) [H0413](#)

「らい病人が清い者とされる時のおきては次のとおりである。すなわち、その人を祭司のもとに連れて行き、

וַיֵּצֵא הַכֹּהֵן אֶל-מַחוּץ לְמִחְנֵה שָׂדֵה וְרָאָה הַכֹּהֵן נִרְפָּא וְהֵקָה 3
患部が 癒えた そして-見よ 祭司が そして-調べる 宿営の 外に [へ] 祭司が そして-出る
[H5061](#) [H7495](#) [H2009](#) [H3548](#) [H7200](#) [H4264](#) [H2351](#) [H0413](#) [H3548](#) [H3318](#)
הַצָּרִיעַ מִן-הַצָּרִיעַ: 祭司の-者から [から] ツアラアの
[H6879](#) [H6883](#)

祭司は宿営の外に出て行って、その人を見、もしらい病の患部が癒えているならば、

וַצִּוָה וְהָקָה הַכֹּהֵן וְלָקַח לְמַטְהַר שְׁתֵּי-צִפְרִים חַיִּים טְהוֹרוֹת 4
清めを-受ける者のために そして-取る 祭司が そして-命じる
[H2889](#) [H6833](#) [H8147](#) [H2891](#) [H3947](#) [H3548](#) [H6680](#)
וְעֵץ אֲרָז וְשֵׁנִי תוֹלַעַת וְאַזְבִּי: 祭司の-木を [から] ツアラアの
[H0231](#) [H8144](#) [H0730](#) [H6086](#)

祭司は命じてその清められる者のために、生きている清い小鳥二羽と、香柏の木と、緋の糸と、ヒソブとを取ってこさせ、

וַצִּוָה וְשָׂחַט אֶת-הַצִּפּוֹר הָאֶחָת אֶל-כְּלֵי-הָאֲדָמָה 5
そして-屠る 祭司が そして-命じる
[H2789](#) [H3627](#) [H0413](#) [H0259](#) [H6833](#) [H0853](#) [H3548](#) [H6680](#)
עַל-מַיִם מִיָּם: 祭司の-木を [から] ツアラアの
[H4325](#)

祭司はまた命じて、その小鳥の一羽を、流れ水を盛った土の器の上で殺させ、

6

הַתּוֹלְעֵת	שָׁנִי	וְאֵת־	הָאֵרֶז	עֵץ	וְאֵת־	אֹתָהּ	יִקַּח	הַחַיָּה	הַצִּפּוֹר	אֶת־
虫の	緑色の	そして-[を]	杉の	木を	そして-[を]	それを	取る	生きた	その-鳥を	[を]
	H8144	H0853	H0730	H6086	H0853	H0853	H3947		H6833	H0853

הַצִּפּוֹר	בְּדָם	הַחַיָּה	הַצִּפּוֹר	וְאֵת־	אוֹתָם	וְטָבַל	הַאֲזֹב	וְאֵת־
その-鳥の	血に	生きた	その-鳥を	そして-[を]	それらを	そして-浸す	ヒソブを	そして-[を]
H6833	H1818		H6833	H0853	H0853	H2881	H0231	H0853

הַחַיִּים:	הַמַּיִם	עַל	הַשְּׁחָטָה
流れる	水の-上に	[の上に]	屠られた
			H4325

そして生きている小鳥を、香柏の木と、緋の糸と、ヒソブと共に取って、これをかの流れ水を盛った土の器の上で殺した小鳥の血に、その生きている小鳥と共に浸し、

7

פְּעָמַיִם	שִׁבְעַ	הַצָּרַעַת	מִן־	הַמְטַהֵר	עַל־	וְהִזָּה
回	七	ツアラアトから	[から]	清めを-受ける者に	[に]	そして-振りかける
H6471	H7651	H6883		H2891		

הַשָּׂדֶה:	פָּנָי	עַל־	הַחַיָּה	הַצִּפּוֹר	אֶת־	וְשָׁלַח	וְטָהַרְוּ
野の	面の-上に	[の上に]	生きた	その-鳥を	[を]	そして-放つ	そして-清いと-宣告する
	H6440			H6833	H0853	H7971	H2891

これをらい病から清められる者に七たび注いで、その人を清い者とし、その生きている小鳥は野に放たなければならない。

8

שְׁעָרוֹ	כָּל־	אֶת־	וְנָלַח	בְּגָדָיו	אֶת־	הַמְטַהֵר	וְכִבַּס׃
その-毛を	すべての	[を]	そして-そる	その-衣を	[を]	清めを-受ける者は	そして-洗う
H8181	H3605	H0853	H1548		H0853	H2891	H3526

מִחוּץ	וְיָשַׁב	הַמַּחֲנֶה	אֶל־	יָבוֹא	וְאַחֵר	וְטָהַר	בַּמַּיִם	וְרָחַץ
外に	そして-住む	宿営に	[に]	入る	そして-その後	そして-清くなる	水で	そして-洗う
H2351	H3427	H4264	H0413	H0935		H2891	H4325	H7364

יָמִים:	שִׁבְעַת	לְאַהֲלוֹ
日間	七	その-天幕の
H3117	H7651	H0168

清められる者はその衣服を洗い、毛をことごとくそり落し、水に身をすすいで清くなり、その後、宿営にはいることができる。ただし七日の間はその天幕の外にいななければならない。

9

רֹאשׁוֹ	אֶת־	שְׁעָרוֹ	כָּל־	אֶת־	יְנַלַּח	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	וְהָיָה
その-頭を	[を]	その-毛を	すべての	[を]	そる	第七の	その-日に	そして-ある
	H0853	H8181	H3605	H0853	H1548	H7637	H3117	H1961

יְנַלַּח	שְׁעָרוֹ	כָּל־	וְאֵת־	עֵינָיו	נֶבֶת	וְאֵת־	זָקְנֹוֹ	וְאֵת־
そる	その-毛を	すべての	そして-[を]	その-目の	まゆ毛を	そして-[を]	その-あごを	そして-[を]
H1548	H8181	H3605	H0853		H1354	H0853	H2206	H0853

וְטָהַר:	בַּמַּיִם	בְּשָׂרוֹ	אֶת־	וְרָחַץ	בְּגָדָיו	אֶת־	וְכִבַּס׃
そして-清くなる	水で	その-肉を	[を]	そして-洗う	その-衣を	[を]	そして-洗う
H2891	H4325	H1320	H0853	H7364	H0853	H0853	H3526

そして七日目に毛をことごとくそらなければならない。頭の毛も、ひげも、まゆも、ことごとくそらなければならない。彼はその衣服を洗い、水に身をすすいで清くなるであろう。

וּבַיּוֹם וּכְבָשָׂה אֶחָת בֵּת שְׁנַיִם יָקַח הַשְּׂמִינִי וּבַיּוֹם 10
 一歳の 一匹 そして-雌の-小羊 傷のない 小羊を 二匹の 取る 取る その-八番目の その-八日目に
 H1323 H0259 H3535 H8549 H3532 H8147 H3947 H8066 H3117

וְשָׁלַשׁ הַמִּימָה שְׁנָתָה וְשָׁלַשׁ עֶשְׂרִים סֵלָת עֵשְׂרִים וְשָׁלַשׁ הַמִּימָה שְׁנָתָה
 油で 混ぜた 穀物の-献げ物として 上質の-粉を 十分の一の そして-三 傷のない その-年の
 H8081 H4503 H5560 H6241 H7969 H8549 H8141

וְלֹג אֶחָד שָׁמֶן:
 油を 一 そして-一-ログの
 H8081 H0259 H3849

八日目にその人は雄の小羊の全きもの二頭と、一歳の雌の小羊の全きもの一頭とを取り、また麦粉十分の三エパに油を混ぜた素祭と、油一ログとを取らなければならない。

וְהָעֹמֵד הַכֹּהֵן הַמְטַהֵר אֶת הָאִישׁ הַמְטַהֵר וְהָעֹמֵד 11
 そして-それらを 清めを-受ける者を その-男を [を] 清めを-行う 祭司が そして-立たせる
 H0853 H2891 H0376 H0853 H2891 H3548 H5975

לִפְנֵי יְהוָה פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד:
 主の 主の-前に 入り口に 会見の 幕屋の
 H3068 H6440 H6607 H0168 H4150

清めをなす祭司は、清められる人とこれらの物とを、会見の幕屋の入口で主の前に置き、

וְלָקַח הַכֹּהֵן אֶת-הַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד וְהִקְרִיב אֹתוֹ לְאִשֵּׁם 12
 [を] 祭司が そして-取る その-小羊を その-小羊を 一匹を [を] 貞罪の-献げ物として それを そして-ささげる
 H0853 H3548 H3947 H0853 H3532 H0259 H0853 H7126 H0817

וְאֵת-לֹג הַשָּׁמֶן וְהִנְיִף אֹתָם לִפְנֵי יְהוָה:
 そして-[を] 油を 一-ログの 主の 主の-前に 揺り-献げ物として それらを そして-揺り動かす
 H0853 H3849 H8081 H0853 H3068 H6440 H8573 H0853

祭司は、かの雄の小羊一頭を取って、これを一ログの油と共に愆祭としてささげ、またこれを主の前に揺り動かして揺祭としなければならない。

וְשָׁחַט אֶת-הַכֶּבֶשׂ בְּמִקְוֵם אֲשֶׁר יִשְׁחַט אֶת-הַחֲטָאת וְאֵת- 13
 [を] そして-屠る その-小羊を その-場所で [を] 屠る [の] 屠る 罪の-献げ物を 罪の-献げ物として
 H0853 H3532 H0853 H4725 H3532 H0853

הַעֹלָה בְּמִקְוֵם הַקֹּדֶשׁ לִי כִּחֲטָאת הָאִשֵּׁם הוּא
 全焼の-献げ物を その-場所で 聖なる 聖なる 罪の-献げ物のように 罪の-献げ物は 貞罪の-献げ物は それは
 H6944 H4725 H6944 H6944 H0817 H1931

לַכֹּהֵן קָדֵשׁ קָדֵשׁ קָדְשִׁים הוּא:
 祭司の-ものである 聖なる 聖なる 至聖の-ものの ものである
 H3548 H6944 H6944 H1931

この雄の小羊は罪祭および燔祭をほふる場所、すなわち聖なる所で、これをほふらなければならない。愆祭は罪祭と同じく、祭司に帰するものであって、いと聖なる物である。

וְלָקַח הַכֹּהֵן מִדָּמָם הָאִשֵּׁם וְנָתַן הַכֹּהֵן עַל-תְּנוּדָה 14
 [から] 祭司が そして-取る 貞罪の-献げ物の-血から [から] 祭司が そして-つける [の上に] 耳たぶに
 H1818 H3548 H3947 H0817 H3548 H5414 H8571

אָזְן הַמְטַהֵר הַיְמָנִית וְעַל-בְּהֵן יָדוֹ הַיְמָנִית וְעַל- 14
 耳の 清めを-受ける者の 右の 親指に 右の 親指に 右の
 H0241 H2891 H3233 H0931 H3233 H3233

הַיְמָנִית: רִגְלוֹ כְּהֵן
 右の 右の-足の 親指に
 H3233 H7272 H0931

そして祭司はその愆祭の血を取り、これを清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とにつけなければならない。

הַכֹּהֵן	כַּף	עַל-	וַיִּצַק	הַשֶּׁמֶן	מִלְּגָן	הַכֹּהֵן	וַיִּלָּקֵחַ	15
祭司の	手のひらに	[の上に]	そして-注ぐ	油の--ログから	[から]	祭司が	そして-取る	
H3548	H3709		H3332	H8081	H3849	H3548	H3947	
							הַשְּׂמָאלִית:	
							左の	
							H8042	

祭司はまた一ログの油を取って、これを自分の左の手のひらに注ぎ、

כַּפּוֹ	עַל-	אֲשֶׁר	הַשֶּׁמֶן	מִן-	הַיְמָנִית	אֶצְבְּעוֹ	אֶת-	הַכֹּהֵן	וַיִּטְבֵּל	16
その-手のひらの	[の上に]	[の]	油から	[から]	右の	その-指を	[を]	祭司が	そして-浸す	
H3709			H8081		H3233	H0676	H0853	H3548	H2881	
יְהוָה:	לִפְנֵי	פְּעָמַיִם	שֶׁבַע	בְּאֶצְבְּעוֹ	הַשֶּׁמֶן	מִן-	וַיִּהְיֶה	וַיִּשְׂמָאלִית		
主の	主の-前に	回	七	その-指で	油を	[から]	そして-振りかける	左の		
H3068	H6440	H6471	H7651	H0676	H8081			H8042		

そして祭司は右の指を左の手のひらにある油に浸し、その指をもって、その油を七たび主の前に注がなければならない。

תְּנִיף	עַל-	הַכֹּהֵן	יָתֵן	כַּפּוֹ	עַל-	אֲשֶׁר	הַשֶּׁמֶן	וַיִּמְתֵּר	17
耳たぶに	[の上に]	祭司が	つける	その-手のひらの	[の上に]	[の]	油を	そして-残りの	
H8571		H3548	H5414	H3709			H8081		
וְעַל-	הַיְמָנִית	יָדוֹ	בְּהֵן	וְעַל-	הַיְמָנִית	הַמְטַהֵר	אָזֵן		
そして-[の上に]	右の	その-手の	親指に	そして-[の上に]	右の	清めを-受ける者の	耳の		
	H3233	H3027	H0931		H3233	H2891	H0241		
		הָאֲשָׁם:	דָּם	עַל	הַיְמָנִית	רִגְלוֹ	בְּהֵן		
		貞罪の-献げ物の	血の-上に	[の上に]	右の	その-足の	親指に		
		H0817	H1818		H3233	H7272	H0931		

祭司は手のひらにある油の残りを、清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とに、さきにつけた愆祭の血の上につけなければならない。

רֹאשׁ	עַל-	יָתֵן	הַכֹּהֵן	כַּף	עַל-	אֲשֶׁר	בַּשֶּׁמֶן	וַיִּהְיוּ	18
頭に	[の上に]	つける	祭司の	手のひらの	[の上に]	[の]	油を	そして-残りの	
		H5414	H3548	H3709			H8081	H3498	
יְהוָה:	לִפְנֵי	הַכֹּהֵן	עָלָיו	וּכְפָר	הַמְטַהֵר				
主の	主の-前に	祭司が	その者の-ために	そして-贖いをする	清めを-受ける者の				
H3068	H6440	H3548			H2891				

そして祭司は手のひらになお残っている油を、清められる者の頭につけ、主の前で、その人のためにあがないをしなければならない。

הַמְטַהֵר	עַל-	וּכְפָר	תְּחַטָּאת	אֶת-	הַכֹּהֵן	וַיַּעַשׂ	19
清めを-受ける者の-ために	[のために]	そして-贖いをする	罪の-献げ物を	[を]	祭司が	そして-行う	
H2891				H0853	H3548		
	הָעֹלָה:	אֶת-	וַיִּשְׁחַט	וַיַּחֲרֵ	מִטְּמְאָתוֹ		
	全焼の-献げ物を	[を]	屠る	そして-その後	その-汚れから		
		H0853			H2932		

また祭司は罪祭をささげて、汚れのゆえに、清められねばならぬ者のためにあがないをし、その後、燔祭のものをほふらなければならない。

20

הַמִּזְבֵּחַ	הַמִּנְחָה	וְאֵת־	הָעֹלָה	אֶת־	הַכֹּהֵן	וְהֵעִילָהּ
祭壇の-上に	穀物の-献げ物を	そして-[を]	全焼の-献げ物を	[を]	祭司が	そして-ささげる
H4196	H4503	H0853	H0853	H3548	H5927	

וְ	וְטָהַרְתָּ:	הַכֹּהֵן	עָלָיו	וְכִפֶּרְתָּ
[区切り]	そして-清くなる	祭司が	その者の-ために	そして-贖いをする
	H2891	H3548		

そして祭司は燔祭と素祭とを祭壇の上にささげ、その人のために、あがないをしなければならない。こうしてその人は清くなるであろう。

21

אֶחָד	כֶּבֶשׂ	וְלָקַח	מִשְׁנֵת	יָדוֹ	וְאֵין	הוּא	רָל	וְאִם־
一匹	小羊を	そして-取る	届かないなら	その-手が	そして-[否定]	もので	貧しい	しかし-もし
H0259	H3532	H3947	H5381	H3027	H0369	H1931	H1800	

וְעֶשְׂרוֹן	עָלָיו	לְכִפָּר	לְתַנוּפָה	אֲשֶׁם
そして-十分の一の	その者の-ために	贖いをする-ために	揺り-献げ物として	貞罪の-献げ物として
H6241			H8573	H0817

שָׁמֶן:	וְלֶג	לְמִנְחָה	בְּשָׁמֶן	בְּלֹל	אֶחָד	סֵלֶת
油を	そして--ログの	穀物の-献げ物として	油で	混ぜた	一	上質の-粉を
H8081	H3849	H4503	H8081		H0259	H5560

その人がもし貧しくて、それに手の届かない時は、自分のあがないのために揺り動かす愆祭として、雄の小羊一頭を取り、また素祭として油を混ぜた麦粉十分の一エパと、油一ログとを取り、

22

וְהָיָה	יָדוֹ	תִּשָּׁיג	אֲשֶׁר	יוֹנָה	בְּנֵי	שְׁנַי	אוֹ	תְּרִים	וּשְׁתֵּי
そして-ある	その-手が	届く	[の]	鳩を	子の	二羽の	あるいは	山鳩を	そして-二羽の
H1961	H3027	H5381		H3123		H8147		H8449	H8147

עֹלָה:	וְהֶאֱחָד	חַטָּאת	אֶחָד
全焼の-献げ物として	そして-一羽が	罪の-献げ物として	一羽が
	H0259		H0259

さらにその手の届く山ばと二羽、または家ばとのひな二羽を取らなければならない。その一つは罪祭のため、他の一つは燔祭のためである。

23

אֶל־	הַכֹּהֵן	אֶל־	לְטַהֲרָתוֹ	הַשְּׁמִינִי	בַּיּוֹם	אֹתָם	וְהָבִיא
[へ]	祭司の-もとへ	[へ]	その-清めの-ために	八番目の	その-日に	それらを	そして-持って来る
H0413	H3548	H0413	H2893	H8066	H3117	H0853	H0935

יְהוָה:	לְפָנַי	מוֹעֵד	אֶהְלֶ־	פֶּתַח
主の	主の-前に	天幕の	会見の	入り口に
H3068	H6440	H4150	H0168	H6607

そして八日目に、その清めのために会見の幕屋の入口における祭司のもと、主の前にこれを携えて行かなければならない。

24

הַשָּׁמֶן	לֶג	וְאֵת־	הָאֲשֶׁם	כֶּבֶשׂ	אֶת־	הַכֹּהֵן	וְלָקַח
油を	--ログの	そして-[を]	貞罪の-献げ物の	小羊を	[を]	祭司が	そして-取る
H8081	H3849	H0853	H0817	H3532	H0853	H3548	H3947

יְהוָה:	לְפָנַי	תַּנּוּפָה	הַכֹּהֵן	אֹתָם	וְהִנִּיף
主の	主の-前に	揺り-献げ物として	祭司が	それらを	そして-揺り動かす
H3068	H6440	H8573	H3548	H0853	

祭司はその愆祭の雄の小羊と、一ログの油とを取り、これを主の前に揺り動かして揺祭としなければならない。

25

הַאֲשָׁם	מִדָּם	הַכֹּהֵן	וְלָקַח	הַאֲשָׁם	כִּבְשֹׁ	אֶת־	וְשָׁחַטְ	
貞罪の-献げ物の-血から	[から]	祭司が	そして-取る	貞罪の-献げ物の	小羊を	[を]	そして-屠る	
H0817	H1818	H3548	H3947	H0817	H3532	H0853		

בְּהֵן	וְעַל־	הַיְמָנִית	הַמַּטְהָר	אָזְן־	תְּנוּדָ	עַל־	וְנָתַן	
親指に	そして-[の上に]	右の	清めを-受ける者の	耳の	耳たぶに	[の上に]	そして-つける	
H0931		H3233	H2891	H0241	H8571		H5414	

הַיְמָנִית:	רִגְלוֹ	בְּהֵן	וְעַל־	הַיְמָנִית	יָדוֹ	
右の	その-足の	親指に	そして-[の上に]	右の	その-手の	
H3233	H7272	H0931		H3233	H3027	

そして祭司は慰祭の雄の小羊をほぶり、その慰祭の血を取って、これを清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とにつけなければならない。

26

הַשְּׂמָאלִית:	הַכֹּהֵן	כַּף	עַל־	הַכֹּהֵן	יִצְקֶ	הַשֶּׁמֶן	וּמִן־	
左の	祭司の	手のひらに	[の上に]	祭司が	注ぐ	油を	そして-[から]	
H8042	H3548	H3709		H3548	H3332	H8081		

また祭司はその油を自分の左の手のひらに注ぎ、

27

כַּפוֹ	עַל־	אֲשֶׁר	הַשֶּׁמֶן	מִן־	הַיְמָנִית	בְּאֶצְבְּעוֹ	הַכֹּהֵן	וְהִזָּה	
その-手のひらの	[の上に]	[の]	油を	[から]	右の	その-指で	祭司が	そして-振りかける	
H3709			H8081		H3233	H0676	H3548		

הַשְּׂמָאלִית	שֶׁבַע	פְּעָמִים	לִפְנֵי	יְהוָה:	
左の	七	回	主の-前に	主の	
H8042	H7651	H6471	H6440	H3068	

祭司はその右の指をもって、左の手のひらにある油を、七たび主の前に注がなければならない。

28

תְּנוּדָ	עַל־	כַּפוֹ	עַל־	אֲשֶׁר	וְהַשֶּׁמֶן	מִן־	הַכֹּהֵן	וְנָתַן	
耳たぶに	[の上に]	その-手のひらの	[の上に]	[の]	油を	[から]	祭司が	そして-つける	
H8571		H3709			H8081		H3548	H5414	

וְעַל־	הַיְמָנִית	יָדוֹ	בְּהֵן	וְעַל־	הַיְמָנִית	הַמַּטְהָר	אָזְן־	
そして-[の上に]	右の	その-手の	親指に	そして-[の上に]	右の	清めを-受ける者の	耳の	
	H3233	H3027	H0931		H3233	H2891	H0241	

הַאֲשָׁם:	דָּם	מְקוֹם	עַל־	הַיְמָנִית	רִגְלוֹ	בְּהֵן	
貞罪の-献げ物の	血の	場所の-上に	[の上に]	右の	その-足の	親指に	
H0817	H1818	H4725		H3233	H7272	H0931	

また祭司はその手のひらにある油を、清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とに、すなわち、慰祭の血をつけたところにつけなければならない。

29

רֹאשׁ	עַל־	יָתַן	הַכֹּהֵן	כַּף	עַל־	אֲשֶׁר	הַשֶּׁמֶן	מִן־	וְהִנּוּתָר	
頭に	[の上に]	つける	祭司の	手のひらの	[の上に]	[の]	油を	[から]	そして-残りの	
		H5414	H3548	H3709			H8081		H3498	

יְהוָה:	לִפְנֵי	עָלְיוֹ	לְכַפֵּר	הַמַּטְהָר	
主の	主の-前に	その者の-ために	贖いをする-ために	清めを-受ける者の	
H3068	H6440			H2891	

また祭司は手のひらに残っている油を、清められる者の頭につけ、主の前で、その人のために、あがないをしなければならない。

מֵאֶשֶׁר הַיּוֹנָה בְּנֵי מִן אִו הַתְּרִים מִן הָאֶחָד אֶת וְעָשָׂה 30
 [の] 鳩から 子の [から] あるいは 山鳩から [から] その一羽を [を] そして-行う
[H3123](#) [H8449](#) [H0259](#) [H0853](#)

וְיָדוֹ תִשָּׁי
 その-手が 届く
[H3027](#) [H5381](#)

その人はその手の届く山鳩と一羽、または家鳩とのひな一羽をささげなければならない。

הָאֶחָד וְאֶת חַטָּאת הָאֶחָד אֶת יָדוֹ תִשָּׁי אֲשֶׁר- אֶת 31
 その一羽を そして-[を] 罪の-献げ物として その一羽を [を] その-手が 届く [の] [を]
[H0259](#) [H0853](#) [H0259](#) [H0853](#) [H3027](#) [H5381](#) [H0853](#)

עַל הַכֹּהֵן וְכִפֹּר הַמִּנְחָה עִלָּה
 [のために] 祭司が そして-贖いをする 穀物の-献げ物と-共に [と共に] 全焼の-献げ物として
[H3548](#) [H4503](#)

יְהוָה לְפָנָי הַמִּטְהָר
 主の 主の前に 清めを-受ける者の-ために
[H3068](#) [H6440](#) [H2891](#)

すなわち、その手の届くものの一つを罪祭とし、他の一つを燔祭として素祭と共にささげなければならない。こうして祭司は清められる者のために、主の前にあがないをするであろう。

תִּשָּׁי לֹא- אֲשֶׁר צָרַעַת נִנֵּעַ בּוֹ אֲשֶׁר- תּוֹרַת זֹאת 32
 届かない [否定] [の] ツアラアトの 患部が-ある そこに [の] 律法である これが
[H5381](#) [H3808](#) [H6883](#) [H5061](#) [H8451](#) [H2063](#)

פּ בְּטִהְרָתוֹ יָדוֹ
 [区切り] その-清めに その-手が
[H2893](#) [H3027](#)

これはらい病の患者で、その清めに必要なものに、手の届かない者のためのおきてである」。

לְאָמֹר אֶהְרֹן וְאַל- מוֹשֶׁה אֶל- יְהוָה וַיְדַבֵּר 33
 言われた アロン そして-[に] モーセ [に] 主は そして-語った
[H0559](#) [H0175](#) [H0413](#) [H4872](#) [H0413](#) [H3068](#) [H1696](#)

主はまたモーセとアロンに言われた、

לְאֶחָדָה לָכֶם נָתַן אֲנִי אֲשֶׁר כְּנָעַן אֶרֶץ אֶל- תְּבֹאוּ כִי 34
 所有地として あなたがたに 与える わたしが [の] カナンの 地に [に] 入るなら もし
[H0272](#) [H5414](#) [H0589](#) [H0776](#) [H0413](#) [H0935](#)

אֶחָדָהּ: אֶרֶץ בְּבֵית צָרַעַת נִנֵּעַ וְנִתְּתִי
 あなたがたの-所有地の 地の 家に ツアラアトの 患部を そして-わたしが-置くなら
[H0272](#) [H0776](#) [H6883](#) [H5061](#) [H5414](#)

「あなたがたに所有として与えるカナンの地に、あなたがたがはいる時、その所有の地において、家にわたしがらい病の患部を生じさせることがあれば、

כְּנָעַת לְאָמֹר לְכֹהֵן וְהִגִּיד הַבַּיִת לוֹ אֲשֶׁר- וּבֹא 35
 患部の-ようなものが 言って 祭司に そして-告げる 家の-主人が その [の] そして-来る
[H5061](#) [H0559](#) [H3548](#) [H5046](#) [H0935](#)

בְּבֵית לִי נִרְאָה
 家に わたしに 見えた
[H7200](#)

その家の持ち主はきて、祭司に告げ、『患部のようなものが、わたしの家にあります』と言わなければならない。

לְרֹאֹת 36
見る-ために H7200
הַכֹּהֵן 祭司が H3548
יָבֵא 来る-前に H0935
בְּתָרֵם [前に] H2962
הַבַּיִת 其の家を
אֶת- [を] H0853
וּפְנֵי そして-空にする H6437
הַכֹּהֵן 祭司が H3548
וְצִוָּהּ そして-命じる H6680

וְאַחַר そして-その後
בַּבַּיִת 家に-あるものが
אֲשֶׁר [の]
כָּל- 全ての H3605
יִטְמָא 汚れない-ように
וְלֹא そして-[否定] H3808
הַנֶּזֶע 患部を
אֶת- [を] H0853

הַבַּיִת: 其の家を H0853
אֶת- [を] H0853
לְרֹאֹת 見る-ために H7200
הַכֹּהֵן 祭司が H3548
יָבֵא 来る H0935
כֵּן 其のように

祭司は命じて、祭司がその患部を見に行く前に、その家をあげさせ、その家にあるすべての物が汚されないようにし、その後、祭司は、はいつてその家を見なければならない。

יִרְקַרְקַת 緑がかった H3422
שְׂקֵמֹת くぼみがある H2825
הַבַּיִת 家の
בְּקִירָתָא 壁に H7023
הַנֶּזֶע 患部が H5061
וְהִנְה そして-見よ H2009
הַנֶּזֶע 其-患部を H5061
אֶת- [を] H0853
וְרָאָה そして-調べる H7200 37

מִן- 壁より H7023
הַקִּיר: 壁より H7023
מִן- [より] H7023
שָׁפֵל 低い H8217
וּמְרִאִיהֶן そして-其-見た目が H4758
אֶרְמֻמָּתָא 赤みがかった H0125
או あるいは

その患部を見て、もしその患部が家の壁にあって、青または赤のくぼみを持ち、それが壁よりも低く見えるならば、

הַבַּיִת 其の家を
אֶת- [を] H0853
וְהִסְגִּיר そして-隔離する H5462
הַבַּיִת 家の
פֶּתַח 入り口に H6607
אֶל- [へ] H0413
הַבַּיִת 家から
מִן- [から] H0853
הַכֹּהֵן 祭司が H3548
וַיֵּצֵא そして-出る H3318 38

שִׁבְעַת יָמִים: 七日間
שִׁבְעַת 七
H3117 H7651

祭司はその家を出て、家の入口にいたり、七日の間その家を閉鎖しなければならない。

הַנֶּזֶע 患部が H5061
פָּשְׁהָ 広がっている H6581
וְהִנְה そして-見よ H2009
וְרָאָה そして-調べる H7200
הַשְּׁבִיעִי 第七の H7637
בַּיּוֹם 其-日に H3117
הַכֹּהֵן 祭司が H3548
וְשָׁב そして-戻る H7725 39

בְּקִירָתָא 壁に
הַבַּיִת: 家の
H7023

祭司は七日目に、またきてそれを見、その患部がもし家の壁に広がっているならば、

הַנֶּזֶע 患部が H5061
כֹּהֵן そこに-ある H0853
אֲשֶׁר [の] H0853
הָאֲבָנִים 其-石を H0068
אֶת- [を] H0853
וְחִלְצֻהוּ そして-取り出す H0853
הַכֹּהֵן 祭司が H3548
וְצִוָּהּ そして-命じる H6680 40

וְהִשְׁלִיכוּ そして-投げ捨てる H7993
אֶתְהֶן それらを H0853
אֶל- [へ] H0413
מִחוּץ 外に H2351
לְעִיר 町の H0413
אֶל- [へ] H0413
מְקוֹם 場所に H4725
טָמֵא: 汚れた H2931

祭司は命じて、その患部のある石を取り出し、町の外の汚れた物を捨てる場所に捨てさせ、

אֲשֶׁר [の] H0853
הַעֲפָרָא 其-塗壁を H0853
אֶת- [を] H0853
וְשָׁפְכוּ そして-捨てる H8210
סָבִיב 周囲を H5439
מִבַּיִת 内側から
יִקְצֹעַ 削り取る
הַבַּיִת 其-家を
וְאֶת- そして-[を] H0853 41

הַקִּצּוֹ 削り取った H7096
אֶל- [へ] H0413
מִחוּץ 外に H2351
לְעִיר 町の H0413
אֶל- [へ] H0413
מְקוֹם 場所に H4725
טָמֵא: 汚れた H2931

またその家の内側のまわりを削らせ、その削ったしっくいを町の外の汚れた物を捨てる場所に捨てさせ、

אַחַר	וְעַפְרָה	הָאֲבָנִים	תַּחַת	אֶל-	וְהָבִיאוּ	אֶחָדוֹת	אֲבָנִים	וְלָקְחוּ	42
塗壁を	そして-別の	その-石の	代わりに	[に]	そして-持って来る	別の	石を	そして-取る	
H0312	H6083	H0068	H8478	H0413	H0935	H0312	H0068	H3947	
						הַבַּיִת:	אֶת-	וְטָח	יִקַּח
						その-家を	[を]	そして-塗る	取る
							H0853	H3947	

ほかの石を取って、元の石のところに入れさせ、またほかのしっくいを取って、家を塗らせなければならない。

אֶת-	חָלַץ	אַחַר	בַּבַּיִת	וּפָרְחָה	הַנֶּגַע	יָשׁוּב	וְאִם-	43
[を]	取り出した後	その後	家に	そして-広がるなら	患部が	戻るなら	しかし-もし	
H0853					H5061	H7725		
הַטּוֹחַ:	וְאַחֲרָי	הַבַּיִת	אֶת-	הַקְּצוֹת	וְאַחֲרָי	הָאֲבָנִים		
塗った後	そして-その後	その-家を	[を]	削り取った後	そして-その後	その-石を		
			H0853	H7096		H0068		

このように石を取り出し、家を削り、塗りがえした後に、その患部がもし再び家に出るならば、

צָרַעַת	בַּבַּיִת	הַנֶּגַע	פָּשָׁה	וְהִנָּה	וְרָאָה	הַכֹּהֵן	וּבָא	44
ツアラアトは	家に	患部が	広がっている	そして-見よ	そして-調べる	祭司が	そして-来る	
H6883		H5061	H6581	H2009	H7200	H3548	H0935	
				הוּא:	טָמֵא	בַּבַּיִת	הוּא	מִמְאֵרַת
				ものである	汚れている	家に	ものである	悪性の
				H1931	H2931		H1931	H3992

祭司はまたきて見なければならない。患部がもし家に広がっているならば、これは家にある悪性のらい病であって、これは汚れた物である。

כָּל-	וְאֵת	עֵצָיו	וְאֵת-	אֲבָנָיו	אֶת-	הַבַּיִת	אֶת-	וְנָתַץ	45
すべての	そして-[を]	その-木を	そして-[を]	その-石を	[を]	その-家を	[を]	そして-壊す	
H3605	H0853	H6086	H0853	H0068	H0853		H0853	H5422	
	טָמֵא:	מְקוֹם	אֶל-	לְעִיר	מִחוּץ	אֶל-	וְהוֹצִיא	הַבַּיִת	עֲפָר
	汚れた	場所に	[へ]	町の	外に	[へ]	そして-運び出す	その-家の	塗壁を
	H2931	H4725	H0413		H2351	H0413	H3318		H6083

その家は、こぼち、その石、その木、その家のしっくいは、ことごとく町の外の汚れた物を捨てる場所に運び出さなければならない。

הָעָרָב:	עַד-	יִטְמָא	אִתּוֹ	הַסִּנִּיר	יָמֵי	כָּל-	הַבַּיִת	אֶל-	וְהָבֵא	46
夕方まで	[まで]	汚れる	それが	隔離された	日間	すべての	その-家に	[に]	そして-入る者は	
H6153	H5704		H0853	H5462	H3117	H3605		H0413	H0935	

その家が閉鎖されている日の間に、これにはいる者は夕まで汚れるであろう。

אֶת-	יִכְבֹּס	בַּבַּיִת	וְהָאֹכֵל	בְּגָדָיו	אֶת-	יִכְבֹּס	בַּבַּיִת	וְהַשֹּׁכֵב	47
[を]	洗う	その-家に	そして-食べる者は	その-衣を	[を]	洗う	その-家に	そして-寝る者は	
H0853	H3526		H0398		H0853	H3526		H7901	
								בְּגָדָיו:	
								その-衣を	

その家に寝る者はその衣服を洗わなければならない。その家で食する者も、その衣服を洗わなければならない。

הַנִּנֵּעַ הַפְּשָׁה לֹא-וְהִנָּה וְרָאָה הַכֹּהֵן יָבֹא בֹא וְאִם-
 患部が 広がっていない [否定] そして-見よ そして-調べる 祭司が 来るなら 来て しかし-もし
[H5061](#) [H6581](#) [H3808](#) [H2009](#) [H7200](#) [H3548](#) [H0935](#) [H0935](#)

הַבַּיִת אֶת- הַחֵטָּה אַחֲרָי בַּבַּיִת
 その-家を [を] 祭司は そして-清いと-宣告する その-家を [を] 塗った後 その後に 家に
[H0853](#) [H3548](#) [H2891](#) [H0853](#)

כִּי נִרְפָּא הַנִּנֵּעַ:
 癒えた 患部が なぜなら
[H7495](#) [H5061](#)

しかし、祭司がはいって見て、もし家を塗りかえた後に、その患部が家に広がっていなければ、これはその患部がいえたのであるから、祭司はその家を清いものとしなければならない。

וְשָׁנִי וְלֶקַח אֶת-לְחֹטֵא שְׁנֵי צִפְרִים הַבַּיִת אֶת-וְלֶקַח
 そして-緑色の 杉の そして-木を 鳥を 二羽の その-家を [を] 清める-ために そして-取る
[H8144](#) [H0730](#) [H6086](#) [H6833](#) [H8147](#) [H0853](#) [H2398](#) [H3947](#)

וְאֵזֶב: תּוֹלְעֵת
 そして-ヒソプを 虫の
[H0231](#)

また彼はその家を清めるために、小鳥二羽と、香柏の木と、緋の糸と、ヒソプとを取り、

מֵימַי עַל- הַרְשׁ כָּלִי- אֶל- הָאֶחָת הַצִּפּוֹר אֶת-וְשָׁחַט
 水の-上に [の-上に] 土の 器の上に [の上に] 一羽を その-鳥の-一羽を [を] そして-屠る
[H4325](#) [H2789](#) [H3627](#) [H0413](#) [H0259](#) [H6833](#) [H0853](#)

חַיִּים:
 流れる

その小鳥の一羽を流れ水を盛った土の器の上で殺し、

תּוֹלְעֵת שְׁנֵי וְאֵת הָאֵזֶב וְאֶת- הָאֶרְזִי עֵץ- אֶת-וְלֶקַח
 虫の 緑色の そして-[を] ヒソプを そして-[を] 杉の 木を [を] そして-取る
[H8144](#) [H0853](#) [H0231](#) [H0853](#) [H0730](#) [H6086](#) [H0853](#) [H3947](#)

וּבְמַיִם הַשְּׁחוּטָה הַצִּפּוֹר אֶתֶם בְּדָם וְשָׁבַל הַחַיָּה הַצִּפּוֹר וְאֵת
 そして-水に 屠られた その-鳥の 血に それらを そして-浸す 生きた その-鳥を そして-[を]
[H4325](#) [H6833](#) [H1818](#) [H0853](#) [H2881](#) [H6833](#) [H0853](#)

חַיִּים: הַחַיָּה אֶל-וְהִנָּה הַבַּיִת שֶׁבַע פְּעָמַיִם:
 流れる 振りかける [に] その-家に [に] 七 回
[H0413](#) [H7651](#) [H6471](#)

香柏の木と、ヒソプと、緋の糸と、生きている小鳥とを取って、その殺した小鳥の血と流れ水に浸し、これを七たび家に注がなければならない。

הַחַיָּה וְבַצִּפּוֹר חַיִּים וּבְמַיִם הַצִּפּוֹר בְּדָם הַבַּיִת אֶת-וְחֹטֵא
 生きた そして-鳥で 流れる そして-水で その-鳥の 血で その-家を [を] そして-清める
[H6833](#) [H4325](#) [H6833](#) [H1818](#) [H0853](#) [H2398](#)

וּבְעֵץ הַתּוֹלְעֵת: וּבְשָׁנִי וּבְאֵזֶב הָאֶרְזִי
 虫で そして-緑色の そして-ヒソプで 杉の そして-木で
[H8144](#) [H0231](#) [H0730](#) [H6086](#)

こうして祭司は小鳥の血と流れ水と、生きている小鳥と、香柏の木と、ヒソプと、緋の糸とをもって家を清め、

הַשָּׂדֶה פְּנֵי אֶל- לְעִיר מִחוּץ אֶל- הַחַיָּה הַצִּפּוֹר אֶת- וְשָׁחַ 53
 野の 面の-上に [へ] 町の 外に [へ] 生きた その-鳥を [を] そして-放つ
[H6440](#) [H0413](#) [H2351](#) [H0413](#) [H6833](#) [H0853](#) [H7971](#)

וְטָהַר: וְקָפַר עַל- הַבַּיִת
 そして-清くなる その-家の-ために [のために] そして-贖いをする
[H2891](#)

その生きている小鳥は町の外の野に放して、その家のために、あがないをしなければならない。こうして、それは清くなるであろう」。

וְלִנְתָק: הַצָּרְעַת נִנְע לְכָל- הַתּוֹרָה זֹאת 54
 そして-はげの ツアラアトの 患部の すべての 律法である これが
[H5424](#) [H6883](#) [H5061](#) [H3605](#) [H8451](#) [H2063](#)

これはらい病のすべての患部、かいせん、

וְלִבְיֹת: הַבְּגָד וְלִצָּרְעַת 55
 そして-家の 衣の そして-ツアラアトの
[H6883](#)

および衣服と家のらい病、

וְלִבְהָרַת: וְלִסְפָּחַת וְלִשְׂאֵת 56
 そして-光る-斑点の そして-かさぶたの そして-腫れの
[H0934](#) [H5597](#) [H7613](#)

ならびに腫と、吹出物と、光る所とに関するおきてであって、

הַצָּרְעַת: תּוֹרָה זֹאת הַטָּהָר וּבְיָוִם הַטָּמֵא בְּיוֹם לְהוֹרֹת 57
 ツアラアトの 律法である これが 清い そして-その-日に 汚れた その-日に 教える-ために
[H6883](#) [H8451](#) [H2063](#) [H2889](#) [H3117](#) [H2931](#) [H3117](#)

□
 [区切り]

いつそれが汚れているか、いつそれが清いかを教えるものである。これがらい病に関するおきてである。